

# 第 38 回 日本運動障害研究会プログラム

当番幹事 茨城県立中央病院

神経内科 小國 英一

日 時 2009年 7月18日 (土)

時 間 14:00～18:00

場 所 大日本住友製薬 (株) 東京支社 2階会議室

東京都中央区京橋1丁目12番2号 TEL 03-5159-2540

参加費 2,000円 (当日会場でお支払い下さい)

年会費 一般会員 3,000円、 幹事 6,000円

(年会費未納の方は当日会場でお支払いください。)

発表時間 各演題、討論を含めて15分、時間厳守でお願い致します。

液晶プロジェクターを用意しております。

会 長 自治医科大学附属さいたま医療センター

神経内科 植木 彰

※当研究会は日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修会

5単位に認定されております。

※当研究会ホームページが5月1日より開設されております。

<http://www.undoshogai.jp/>

共催 日本運動障害研究会  
大日本住友製薬株式会社

【14:00～14:15】

【製品紹介】 レボドパ賦活型パーキンソン病治療薬 「 トレリーフ錠 」

大日本住友製薬株式会社 学術担当

## SESSION I

<座長> 埼玉医科大学病院 荒木信夫

【14:20～15:25】

### 1. 両側咽頭不全麻痺を認めた咽頭・頸部・上腕型ギラン・バレー症候群の1例

○羽鳥浩三<sup>1)</sup>、籠橋麻紀<sup>2)</sup>、鈴木康司<sup>3)</sup>、渋屋康則<sup>3)</sup>、林明人<sup>1)</sup>、長岡正範<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>順天堂大学 リハビリテーション科、<sup>2)</sup>江東病院神経内科

<sup>3)</sup>国立障害者リハビリテーションセンター病院 耳鼻咽喉科

### 2. 声帯麻痺をきたしたパーキンソン病の1例

○堀内武志，柏原健一

岡山旭東病院 神経内科

### 3. 頭痛を主訴とする一過性脳梁膨大部病変を呈した1例

○小國英一，浜野由花子，関義元，寺澤富久子，関昇子，植草義史，渡邊俊司

茨城県立中央病院 神経内科，同 総合診療科

### 4. 成人型 Krabbe 病の1例

○山脇健盛<sup>1)</sup>、大喜多賢治<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>広島大学 脳神経内科

<sup>2)</sup>名古屋市立大学 神経内科

## SESSION II

<座長> 順天堂大学 林 明人

【15:30～16:35】

5. 高齢発症のコレアを呈したもやもや病の1例

○大江康子, 山元敏正、糸川かおり、溝井令一、荒木信夫  
埼玉医科大学病院 神経内科

6. 頭部MRIにて視床、中脳黒質に異常を認め、パーキンソニズムを呈した日本脳炎の64歳男性例

○石井亜紀子<sup>1)</sup>、塩谷彩子<sup>1)</sup>、織田彰子<sup>1)</sup>、大越教夫<sup>2)</sup>、高崎智彦<sup>3)</sup>、玉岡晃<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>筑波大学 神経内科、<sup>2)</sup>筑波技術大学 神経内科、<sup>3)</sup>国立感染症研究所

7. 特発性大脳基底核石灰化症の1例

○上野友之、河野豊、永田博司  
茨城県立医療大学 神経内科

8. RSDの経過中に下肢の不随意運動を呈した1例

○石川欽也  
東京医科歯科大学 神経内科

————— coffee break —————

【16:50～17:50】

特別講演

<座長> 茨城県立中央病院 神経内科 小國 英一

### 『腕の到達運動を用いた機能的運動解析』

杏林大学病院医学部統合生理学教室 准教授 大木 紫 先生

## [ ご案内図 ]



J R : 「東京駅」 (八重洲口) より 徒歩 約 8 分

地下鉄 : 東京メトロ「京橋駅」、都営地下鉄「宝町駅」より徒歩 約 5 分

なお、駐車場は大日本住友製薬 (株) 東京支社にはございません。

東京都駐車場公社八重洲駐車場 (TEL 03-3563-6476) または東京都駐車場公社  
宝町駐車場 (TEL 03-3563-6471) をご利用ください。

**日本運動障害研究会 事務局**

順天堂大学医学部附属浦安病院リハビリテーション科

〒279-0021 千葉県浦安市富岡 2-1-1

TEL047-353-3111 FAX047-353-3138